

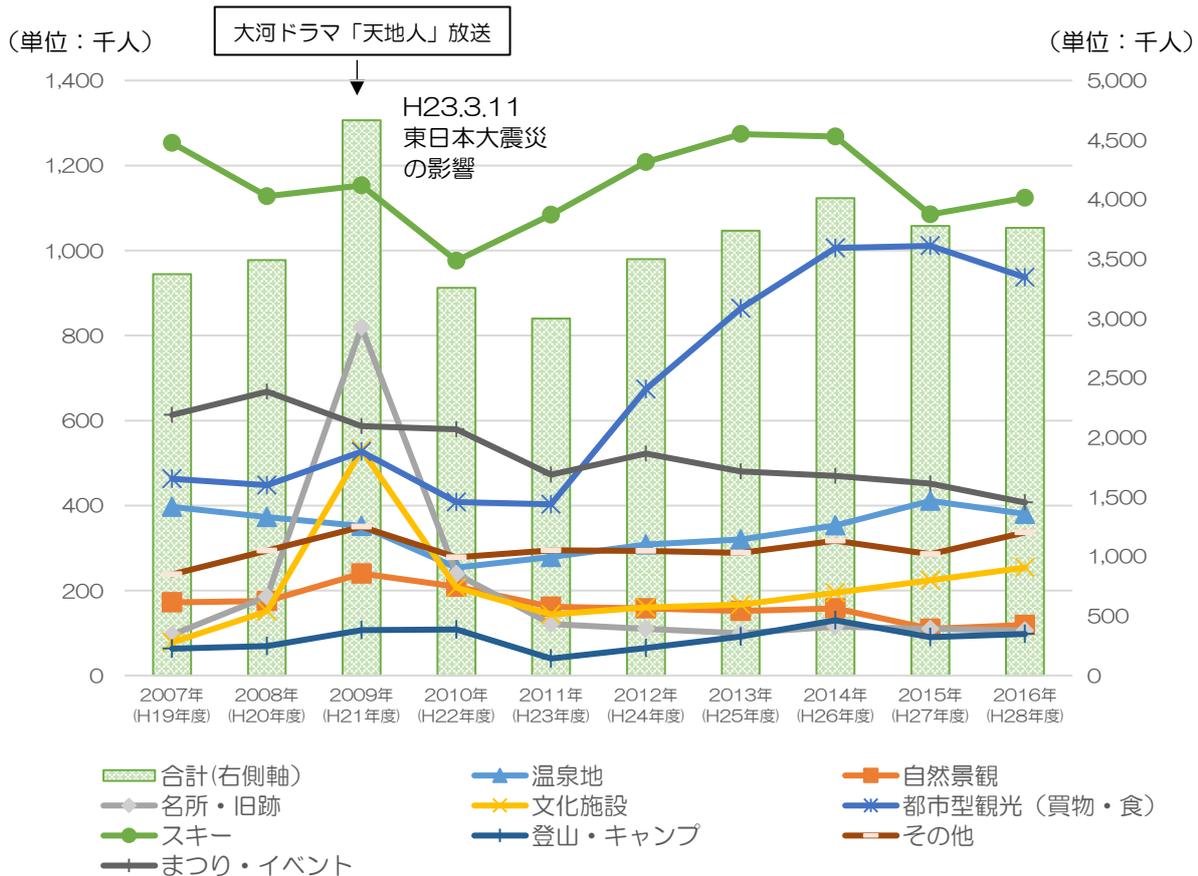
現状

本市へは年間約 370 万人の観光客が訪れ、3 割が冬季のスキー観光に訪れています。スキー観光は、観光客数がほぼ横ばいの状況が続き、積雪量・天候状況の影響を受けやすいことから、スキー観光を核としながらも冬季以外のグリーンシーズンにも観光客を呼び込むため、これまでB-1 グランプリへの参加によるまちおこしや大河ドラマによる集客に向けた取り組みを行ってきましたが、ブームも一過性なもので継続的な集客につながりませんでした。

一方で、地元の特産品を販売する道の駅「南魚沼」や酒と食をテーマとした民間開発の観光施設などの「都市型観光（買物・食）」\*1が観光客数を大きく伸ばしています。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた国のインバウンド推進施策により、日本への訪日外国人旅行者数が、平成 25 年（2013 年）1,036 万人から平成 29 年（2017 年）2,869 万人\*2へと大幅に増加しており、多くの外国人観光客が外国人観光客向け周遊チケットなどを活用し近隣自治体まで訪れています。

【図表 7-1 本市の観光入込客数の推移】

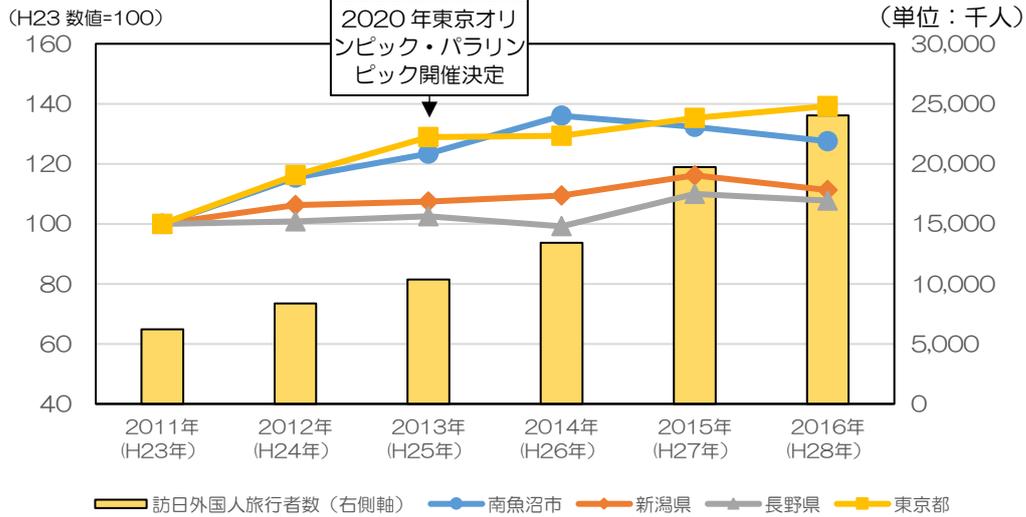


(資料)：南魚沼市商工観光課

\* 1 都市型観光（買物・食）：観光農園、伝統工芸・酒蔵の産業拠点及び展示販売施設等を利用する観光形態

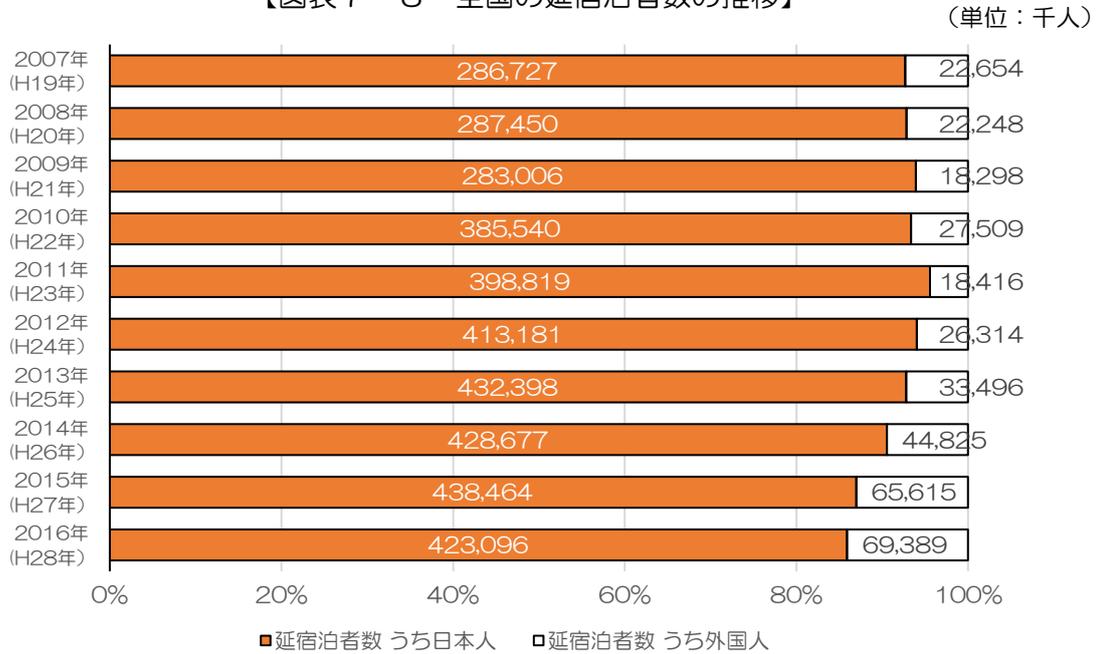
\* 2 平成 30 年 3 月 20 日発表、日本政府観光局（JNTO）による速報値

【図表7-2 観光入込客数の比較及び訪日外国人旅行者数の推移】



(資料): 全国観光入込客統計 (観光庁)、日本政府観光局 (JNTO)

【図表7-3 全国の延宿泊者数の推移】



(資料): 旅行・観光消費動向調査 (観光庁)



【市内スキー場】



【道の駅南魚沼市「雪あかり」】

## 将来像

### 『世界が訪れたいくなる南魚沼へ』

今後、国内観光客数の減少が見込まれることから、外国人観光客の誘客を一層進めるとともに、市民や事業者、関連団体、行政が連携し、本市にしかない魅力の再構築、この地域に根差した「おもてなし」体制の整備、情報発信の強化を進め、国内外の旅行者が訪れたいくなる「南魚沼の魅力づくり」を進めます。

## 課題

南魚沼産コシヒカリの産地やスキー観光地として全国的に知名度は高いものの、新たな魅力や地域ブランドの再構築が進んでいない状況です。

本市の特徴であるスキー観光は、観光客の高齢化が進む一方で、若年層への定着が薄いことから、これに替わり四季を通じて地域特有の文化、歴史、風土と結びついた観光を推進する取り組みが求められています。

多くの外国人観光客が湯沢町まで訪れており、今後は、本市を含めた地域全体への誘客に繋げる取り組みや情報発信の強化が求められています。

併せて、宿泊施設や飲食店、交通機関におけるWi-Fiの設置、メニュー・案内・時刻表の多言語化、キャッシュレス化など受入体制の整備や、観光施設や宿泊施設の老朽化への対策を進めながら、新たな観光ニーズの掘り起こしや観光客の要望に対応する必要があります。

## 観光業の戦略

戦略1	雪国の特徴的な文化、歴史、風土を活かした四季観光の推進
戦略2	広域連携、事業者との連携による広域観光の推進、送客力強化の推進
戦略3	SNSなどの新たなメディアを活用した情報提供の推進



【重要無形民俗文化財  
越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭】



【巻機山の寒桜】

## 具体的施策の内容

施 策	内 容
戦略 1 コンテンツ・ツアーリズムの推進	この地域固有の文化、歴史、風土と四季を結び付けた観光を推進するとともに、特に重要なコンテンツとして雪国特有の食文化にストーリー性を付加した観光誘客施策を進めます。
戦略 2 広域観光の推進	国内観光客の多様なニーズや外国人観光客の長期滞在型の観光に対応するため、雪国観光圏*1、中越文化観光産業支援機構*2、関東観光広域連携事業推進協議会*3、東日本連携*4と連携し、ルートの開発や宣伝、誘客を進めます。
戦略 2 受入体制・送客手配の整備・強化	Wi-Fi の設置、案内・時刻表・メニューなどの多言語化、キャッシュレス化など外国人観光客の受入体制や観光エリアへの 2 次交通の整備を進めます。 また、国内外から本市に観光客を送客するため、時流に則したアプローチや体制強化を図ります。
戦略 3 SNS を活用した情報発信の強化	有効なインフルエンサーの活用や時代とリンクした情報提供ツールを活用したPRを進めます。

## 指標 (KPI)

指標の名称	現在 (2017 年)	短期 (2020 年)	中期 (2023 年)	長期 (2026 年)
観光入込客数の維持	380 万人/年	420 万人/年	420 万人/年	420 万人/年
外国人観光客宿泊数の増加	0.4 万人/年	3 万人/年	5 万人/年	7 万人/年
市内各駅*5 における平均乗車数の増加	(2016 年) 1,560 人/日	1,590 人/日	1,600 人/日	1,610 人/日
市内 IC 出入口*6 の平均交通量の増加	6,734 台/日	6,850 台/日	6,950 台/日	7,050 台/日

- \*1 雪国観光圏：「100年後も雪国であるために」をスローガンに、平成20年に魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町、群馬県みなかみ町、長野県栄村の7市町村で構成された魅力ある観光地域づくりを進める一般社団法人。平成29年11月地域連携DMO登録。
- \*2 中越文化観光産業支援機構：長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、十日町市、見附市、燕市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、出雲崎町、津南町の10市町で構成された協議会。平成28年4月設立。
- \*3 関東観光広域連携事業推進協議会：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け外国人旅行者の受入推進を目的に、関東圏及び新潟県、長野県、福島県の参加自治体で構成。平成27年12月設立、平成28年5月加入
- \*4 東日本連携：平成27年10月設立された、地方創生及び地域の活性化に向けた東日本の各新幹線沿線自治体の連携組織。平成29年12月加入。
- \*5 市内各駅：石打駅、塩沢駅、六日町駅、浦佐駅における乗車人員、ただし定期券による乗車人員を除く。
- \*6 市内IC出入口：塩沢石打IC、六日町IC、大和スマートIC。